

「第8回 三河湾大感謝祭」2021.10.24の参観して（備忘録）

野田賢司

（矢環研・事務局）

1. プロローグ

前日：晴天・西風あり、本日：風穏やかな晴天日

車窓から

蒲郡駅～三河大塚駅 電車の窓越しに山麓に国道23号バイパス工事が新たな景観に

駅北：蒲郡信用金庫本店のリッパなビル（本日は休みで無人）

蒲郡ホテル：コロナ患者の隔離養生棟に

里山：ミカン畑は竹林・雑木・転用と景観変化

三河大塚駅～ラグーナ蒲郡：歩く（13:00）

堀、広い遊休地（草地）、造成地と滅失した干潟浅場海岸

ヨットハーバー、建築物、ヨット、プレジャーボート

ラグーナ蒲郡～海陽ヨットハーバー

中央内水域：カイツブリ+カワウ+ボラ？

水上バイク競技大会

中高生ビーチサッカー？

人工海岸（砂浜、防波堤、沖合：ヨット、帆船、輸送船

風車発電と山並み（渥美半島）、三河湾、空、渡り鳥（カモ）？

南西向き石積岸壁 流木・ヨシ片・漂着ゴミ目に付く

2. 会場参観

会場（一巡）

センタープラザ・ブース、クラブハウス・ブース

各ブース

クイズラリー

写真展

ステージ

ゆるきゃらアサリ

愛教大ブースにて（エコバックプレゼント）

三谷水産高校ブース

桜丘高校ブース（エビ掬い）

グリーンマップ

半田エコクラブ（ハゼ）

亀の子隊

矢作川流域圏懇談会

その他

クラブハウスのブース いろいろ



ラグーナ蒲郡：ラ・メルカーサ（リゾートマンション）



海上：帆船・ヨット・大型船等



水上バイク競技大会



学生ビーチサッカー大会



漂着プラゴミ・流木・竹・ヨシ片



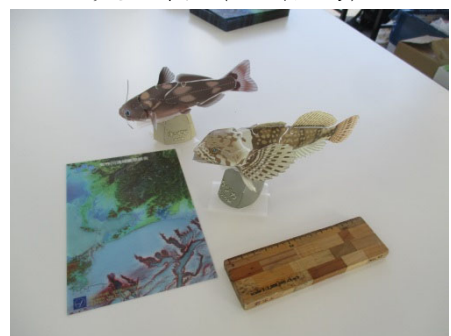
三河湾大感謝祭メイン会場（海陽ヨットハーバー）



ゆるキャラ（かい君2号）



矢作川流域圏懇談会のブース



矢作川、魚（紙工作）に流域ものさしを添えて



ステージイベント（落語会の様子）

3. 矢作川流域圏懇談会ブースにて

紙工作サカナ

矢作川クイズ：！？ 物知りクイズ：懇談会に参加していないとわからない高レベル

木のおもちや（弓矢）コーナー：小学生にやや人気（中学年向き）

ブースのスタッフ：総勢4名：3名（事務局補佐・アジア航測の方、中田・石原・星さん）＋1名（事務局・豊橋河川事務所の方、設楽町住人・狩猟免許）

旗、奥に冊子なども用意

訪れる人疎ら、隅っこのブース、硬い表情と内容のブース（行政的）

岸壁積石上に流木やプラゴミなど漂着ゴミが見られた（豊川河口で昨日ゴミ拾いしてきたばかり。ほとんどない浜だったが、方向によって集積しているところがある。拾ってとりたいが柵があって入れないし・・・。）

話したこと：

1) イベントの入り等について（帰ってから、若い世代、子供の少ないこと（警鐘か））

ラグーナの雰囲気・配置・施設、イベントの違い：人数と賑やかさ（1：100）

2) クイズについて（レベル、内容）

各部会でもっとお題（Q）について話合っているとよかったか、これで良いのか!?

3) 流域ものさしについて

4年間の使用に耐えているものさし。でもカビも付いてきた。これで流量も測っています。阿摺川の水量は矢作川上流と同様豊富!？。懇談会の勉強会からいろいろ学んで、実行して、木づかい（ものさし）も役立っていますよ！

若い世代はものさしを御存じない!？。それは残念！

10倍長いものさしも。新幹線風のエッジを。使い勝手もうすこし考えて。

勉強だけでなく体験イベントも（最初にものさしづくりを）

4) 流域圏懇談会とは、参加者、何を懇談する・・・云々

5) 各部会の参加者構成・多様性・座長、これから・次はどこに向かうのか

タカハシ etc・プロジェクト、だれかれの10年間何を話してきたのか、紡いできたのか、織ってきたのか、参加も生きがいの一つ、学びの大きなそれぞれ、私は趣味で・・・各人がこの10年余り何を話してきたのか、賑わしたのか、何に繋がったのか、現実性、関連性、明日への・次世代・未来世代へのつながり

6) 他社のできないこと、アジアを航測する会社への期待とユニークな人、自然科学と職人、技術の未来、これから社会工学、実学は未来を見つめて、スタッフを含めて若手・人材づくり、継承、手がかり・足がかりを残して・ベースキャンプを増やしていく

ノーベル賞候補者を続出させる y 流域戦略

変な使い方より、y に投資、未来に、このモデルづくりへお金を注ぐこと

酒匂川、二宮金次郎、矢作川方式は、酒匂川をヒントに三河版・風土に洗練した英知

知恵は懇談から（会話、交流の中から湧いてくる）

世は、SDGs<（より）sdgS（もどき）か？いずれにせよ世界は回る（地球は回る）

先ず木づかいでも、究極は、木のくるま、持続可能か

流域圏で、市民同士、電気カーでカーボンニュートラル以上、
電気で電気をつくる矛盾、一日の電気量で動く（シェア）、不足分は交流住民同士で電
気のおすそ分け、ポイントカード

地球温暖化、海面上昇で無くなる国土、地球に穴を掘って火山島づくり国土づくり（国・
苦につくり現代版）6mともでいなくても 3m（低くてまず 1m）海面上昇で国土減
少・島無しけずられて、・・・

これは本当にそうなるので、

持続可能性、sdgS、何が持続可能な流域なのか、その河川整備から流域面に・・・

そのモデル、ユニークなモデル、三河も東西でこんな違いが、ものづくりマツタケ（ア
ンブレラともいうか）生態系構造と、豊かな文化を醸す生態系構造、・・・

ラグーナ蒲郡は一体何か、何だ！？

内湾上空を飛ぶもの

飛行機？、カワウの飛行？、カモの群れ？・・・

星越海岸、三谷温泉観光地・保養地の昔と今、海辺文化

その他、美しい富士山のフォーカスの山容景観にご満悦の中田さん。コロナ禍で久し
ぶりに直接お会いできて、いろいろ会話弾む（立ち話）。

7) クイズラリー

時間なく急いで回って、アンケートに回答して、提出。

全問正解とのこと。ガラガラを回して、商品券をゲット。

お礼を言って、急いでさようなら。

4. 会場を離れて（帰路）

8) 行きは三河大塚駅から、帰りは三河三谷駅に。歩いて観ると、三河湾の眺望よく、大
塚と三谷の街並み・三谷温泉街の変貌また然り。海辺のイベントは終わってもう人は
僅か。

三河三谷駅に向かって（登って）、三段の海岸段丘に気が付いた。東幡豆の海岸段丘に
比定できる。このルートは、リバーウォークのようにシーサイドウォークに良い。身
近なエコツアーのルートを開拓。豊川流域圏づくり協議会に本日のコースを伝えたい。



星越海岸の生き物観察会場（イベント後）



クズと化した電話ボックスの風景

5. エピローグ（今日を振り返って）

ラグーナ蒲郡の各施設・利用、建物、機能施設、周辺、三河湾を眺めて、また本日見た海岸での人の活動など、感じたこと、考えたこと、は多かった。これもここに足を運ぶ機会を与えて頂いた懇談会の縁かなと思う。

しかし、あの落語は、緊張されていて大変だったなとか、あのフラは良かったなとか。愛知県知事は小柄な方でブース前にいた横で気づかなかったが、知事は熱心な方だなと。

それにしても、当イベントにおいても、今日、コロナ禍の影響で人込み・イベントを避けるとはいえ、会場はじめ、ラグーナに、あまりにも子供（幼い子供たち）の数の少なさに、日本国（小さく見てy流域）の未恐ろしく感じさせられたのは、日本の高度成長期からイベントを見てきている初老の域に入った私だけでしたでしょうか。私らが主催したりする最近のイベントなども、高齢者主体で、若い世代の構成比率が小さいのです。カクテルグラス型の人口構造のような老人国にはなりたくないですな。釣鐘型の人口構造が良いのでは無いでしょうか。そして次世代につなげていつの間にか消える。すべては地層に人類紀が刻まれるように。争いが絶えない不幸な地質時代だったか幸せな種族の時代だったのか、未来の新人類か別の知的生命体か、それはCアーサー・クラークのように、近未来SF小説に描かれることでしょう。

さあ明日からの流域圏懇談会に、何を期待しましょうか。

(2021.10.23 23:00 初稿)